

【資料1】函館市住宅マスタープラン（函館市住生活基本計画）の実施状況

成果指標

【基本目標1】誰もが安心・安全に暮らし続けることができる住まいの実現

成果指標	策定当時の状況	直近の現状	目標（R14）
居住支援協議会における支援体制の整備	R5.2.3 居住支援協議会設立	・R7.4.1～ 協力不動産店登録制度 の開始 ・R8.2.6：協議会開催	居住支援協議会の運用
地震や台風に対する安全性（住環境）の満足度	（函館市の住まいに関するアンケート） 59.5%【R3年度】	—	増加
居住世帯のある住宅の耐震化率	（耐震改修促進計画） 90.6%【R2年度】	—	95%【R7年度】

【基本目標2】次世代に継承できる住宅ストックの形成

成果指標	策定当時の状況	直近の現状	目標（R14）
一定の省エネルギー対策 ^{*1} を講じた住宅ストックの割合	（住宅・土地統計調査） 75.5% 【H30年度】	（住宅・土地統計調査） 72.8% 【R5年度】	80%
空家等 ^{*2} の解消と活用 ・重点対象地区内(西部・中央部地区)の特定空家等の解消と空家等の活用 ・重点対象地区外の特定空家等の解消	（空家等対策計画） ・重点対象地区内 特定空家等の解消：23棟 空家等の活用：13棟 ・重点対象地区外 特定空家等の解消：17棟 【R3年度】	（空家等対策計画） ・重点対象地区内 特定空家等の解消：120棟 空家等の活用：180棟 ・重点対象地区外 特定空家等の解消：74棟 【R6年度】	・重点対象地区内 特定空家等の解消：180棟 空家等の活用：110棟 ・重点対象地区外 特定空家等の解消：140棟 【R7年度】
マンションの実態把握	—	・R5.6 実態調査の実施 （アンケート） R6.12 結果送付 ・R7.12 実態調査の実施 （アンケート）	実態調査の実施

*1 一定の省エネルギー対策：全てまたは一部の窓に、二重以上のサッシまたは複層ガラスを使用していることを指す。

*2 R3年度：重点対象地区内(空家等は726棟、うち特定空家等191棟)、重点対象地区外(空家等は600棟、うち特定空家等189棟)

【基本目標3】まちづくりと連携した快適で魅力ある住環境の形成

成果指標	策定当時の状況	直近の現状	目標（R14）
居住誘導区域内の人口密度	（立地適正化計画） 56人/ha【H27年】	（立地適正化計画） 53人/ha【R2年】	（立地適正化計画） 45人/ha【R12年】
まちなみや景観に関する満足度	（函館市の住まいに関するアンケート） 69.7%【R3年度】	—	増加
公園や広場の満足度	（環境基本計画） （函館市の環境に関する市民アンケート調査） 61.2%【R3年度】	（環境基本計画） （函館市の環境に関する市民アンケート調査） 67.5%【R6年度】	80% 【R12年度】

